



敦賀市
Tsuruga City

栄新町防災マップ

(計画規模・土砂災害) 2024年3月発行

この地図の作成にあたり、国土地理院発行の基盤地図情報を使用した。 測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 2JHs 185

この地図は、笹の川水系の各河川が、概ね100年に一度の確率で起こる大雨(1日の総雨量220mm)又は概ね1000年に一度の確率で起きる大雨(1日の総雨量547mm)によって水害が発生した場合の、あらゆるケースを想定し、浸水の予想される区域や浸水深を示したものです。但し、降雨の条件によってその他の範囲が浸水することもあります。

立退き避難が必要となる家屋等の表示 (マーク)

- 計画規模の降雨で立退き避難が必要となる家屋
- 最大規模の降雨で立退き避難が必要となる家屋

注意

栄新町の浸水深は、概ね1m～4mになるため、立退き避難が必要な表示がされていない家屋でも、浸水被害エリア内の場合や、土砂災害警戒区域内の場合は、安全な段階に指定の避難場所へ避難してください。但し、深夜や降雨等により避難することが困難・危険な場合は、2階以上の安全な場所で身を守ってください。

逃げ遅れた場合

浸水が始まった場合、北公民館への避難は危険なため、浸水想定の高い敦賀ムゼウム方面に避難して下さい。

土砂災害が発生した場合、土砂等が国道のアンダーパスを通り抜け、下枠の範囲で被害が発生する可能性があります

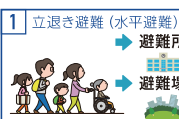


浸水の方

浸水の方

適切な避難行動

避難の種類と行動



1 立退き避難 (水平避難) 避難所や、近隣の安全な場所や建物へ、安全な段階に避難する「立退き避難」



2 屋内安全確保 立退き避難するとかえって危険な場合は、その時に居る建物内での「屋内安全確保」



3 垂直避難 2階以上の高いところへ避難する「垂直避難」。但し、24時間分の水・食糧等の備蓄があり、堪える体力がある場合

避難時の心得



火の元(コンロ、暖房器具、タバコ、線香など)と戸締りを確認、電気はブレーカーを落として、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



動きやすい服装で、必要最小限の荷物を持ち、2人以上で避難しましょう。



深さ30cmを超えると自動車は走行困難になります。

凡例

- A E D
- 防災倉庫(備蓄)
- 消火栓

避難施設等の利用

指定避難所	指定緊急避難場所	福祉避難所	
			3階以上は利用可能
			2階以上は利用可能
			利用可能 (1階床下浸水)
			全館利用可能 (浸水なし)

浸水深と建物被害

浸水深	建物被害
3.0 m 以上 ~ 5.0 m 未満	3.0 m ~ 5.0 m 未満 2階床上浸水
1.0 m 以上 ~ 3.0 m 未満	1.0 m ~ 3.0 m 未満 1階床上浸水
0.5 m 以上 ~ 1.0 m 未満	0.5 m ~ 1.0 m 未満 1階床下浸水
0.5 m 未満	0.5 m 未満 1階床下浸水

土砂災害(特別・警戒)区域

- 特別警戒区域
- 警戒区域